

1 主要野菜の生産出荷状況

・レポートの読み方については、注意書きを参照してください。

種類	8月の価格情報			9月 (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	入荷量及び主要産地	生育及び価格の9月中旬までの見通し		「図の見方」 現時点の価格水準 今後の価格水準 平均価格			
	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額					生育及び価格の9月中旬までの見通し					
	上旬	中旬	下旬								
葉茎菜類	キャベツ	74.19 (90%)	67 (93%)	66 (89%)	74.19	・入荷量：15,181t ・主産地：群馬(76)、岩手(14)	平均価格	群馬産は、現在多めの出荷となっており、降雨による収穫遅れはあるものの、今後も平年より多めの出荷の見込み。岩手産は、台風による降雨により傷み等はあるものの、台風時以外は天気も良好生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 群馬産及び岩手産の出荷が平年より多め若しくは平年並みと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。			
		88.91 (78%)	69 (81%)	67 (75%)	88.91	・入荷量：3,710t ・主産地：群馬(77)、長野(22)	平均価格				
	たまねぎ	93.34 (198%)	185 (181%)	169 (152%)	83.77	・入荷量：11,129t ・主産地：北海道(95)	平均価格	北海道産は、台風により鉄道等の交通インフラに被害を受け輸送に影響がみられることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。			
		93.34 (228%)	213 (191%)	178 (167%)	83.77	・入荷量：3,852t ・主産地：北海道(73)、兵庫(26)	平均価格				
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	287.00 (87%)	250 (118%)	338 (105%)	287.00	・入荷量：4,735t ・主産地：青森(26)、北海道(21)、秋田(15)、山形(8)	平均価格	青森産は、台風時以外は天候に恵まれ概ね順調な生育となっており、今のところ台風による大きな影響はなく、引き続き平年並みの出荷の見込み。北海道産は、台風による収穫遅れに加え、輸送に影響がみられることがあるから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。秋田産は、多雨等の影響で生育がやや遅れていることから、現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、今のところ台風による大きな影響はみられないことから、今後は生育が回復し平年並みの出荷の見込み。山形産は、生育は概ね順調であり、今のところ台風による大きな影響はほとんどないことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 青森産、秋田産及び山形産の出荷が平年並みと見込まれるもの、北海道産が台風により輸送に影響がみられることがあるから、現在平年並みの価格は、平年を上回って推移する見込み。			
		487.13 (77%)	373 (99%)	483 (102%)	497 (102%)	487.13	・入荷量：185t ・主産地：香川(34)、徳島(16)、大坂(13)、奈良(10)	平均価格			
	はくさい	58.82 81.96 (94%)	55 (70%)	57 (68%)	81.96	・入荷量：8,982t ・主産地：長野(85)、北海道(10)	平均価格	長野産は、降雨による収穫遅れはあるものの、生育が順調であることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。北海道産は、台風による大雨のために収穫が遅れ、今後は病害等の発生も懸念されることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 北海道産の出荷が平年より少なめと見込まれるもの、長野産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。			
		62.79 88.72 (84%)	53 (59%)	52 (57%)	88.72	・入荷量：3,727t ・主産地：長野(99)	平均価格				
果菜類	ほうれんそう	583.95 (98%)	572 (110%)	641 (120%)	700 (120%)	583.95	・入荷量：761t ・主産地：群馬(27)、茨城(20)、栃木(18)、岩手(12)	平均価格	群馬産は、前進出荷の影響で端境が生じ、少なめの時期があったものの、生育は順調なことから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。栃木産は、多雨により品質の低下が懸念されるものの、生育は概ね順調で特に病害も見られないことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、概ね天候に恵まれ生育は順調で、気温も高めであることから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。 岩手産は、台風による大雨で一部は品質の低下がみられるものの、台風時以外は天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。		
		670.86 (90%)	607 (99%)	666 (112%)	752 (112%)	670.86	・入荷量：403t ・主産地：岐阜(74)、北海道(10)	平均価格			
	レタス (結球)	158.27 (60%)	95 (65%)	103 (84%)	133 (84%)	158.27	・入荷量：8,461t ・主産地：長野(84)、群馬(9)	平均価格	長野産は、現在端境期であり、降雨による収穫の遅れもあるものの、生育は順調で肥大も良く大玉傾向となっており、今後は、高冷の二期作目の出荷が増加することから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。群馬産は、概ね生育は順調で前進出荷傾向となっており、現在平年より多めの出荷となっているものの、今後は後作との端境ができると見込まれることから、平年並みの見込み。 長野産及び群馬産の出荷がやや多め若しくは平年並みと見込まれることから、長野産の一時的な端境期による供給不足により、現在平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。		
		152.57 (62%)	95 (72%)	110 (96%)	146 (96%)	152.57	・入荷量：1,626t ・主産地：長野(99)	平均価格			
	きゅうり	221.22 (77%)	171 (80%)	178 (80%)	244 (110%)	221.22	・入荷量：7,380t ・主産地：福島(28)、岩手(15)、秋田(11)、群馬(9)、埼玉(9)	平均価格	福島産は、後続産地との切り替わりがうまくいくことから、出荷量は確保できていることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。岩手産は、台風の影響によりスレ果等の増加が懸念されるものの、台風時以外は天候に恵まれ生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。秋田産は、多雨の影響で生育が遅れていることから、現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、今後は生育が回復すると見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。群馬産は、曇天による生育遅れの期間があったものの、生育が順調であることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。 福島産、岩手産、秋田産及び群馬産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、病害の発生やスレ果等の下等級品の増加が懸念されるため、平年並みに近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。		
		232.80 (78%)	181 (79%)	183 (79%)	256 (110%)	232.80	・入荷量：1,609t ・主産地：北海道(34)、福島(25)、愛媛(13)	平均価格			
	トマト (大玉)	252.46 (100%)	252 (81%)	205 (91%)	229 (91%)	252.46	・入荷量：7,710t ・主産地：北海道(20)、青森(17)、福島(15)、千葉(14)、群馬(8)	平均価格	北海道産は、台風による収穫遅れに加え、輸送に影響がみられることがあるから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。青森産は、今のところ台風による大きな影響はなく、台風時以外は天候に恵まれ生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。福島産は、後続産地の生育が順調なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、生育は順調で現在平年並みの出荷となっているものの、今後は台風9号の影響から、平年よりやや少なめの出荷の見込み。 群馬産は、天候に恵まれ生育は順調で、着果や肥大も良好であり、やや前進出荷傾向となっていることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。		
		298.46 (94%)	280 (81%)	243 (86%)	258 (86%)	298.46	・入荷量：1,702t ・主産地：北海道(40)、岐阜(34)、岡山(8)	平均価格			
根菜類	なす	230.51 (103%)	238 (72%)	165 (99%)	229 (99%)	230.51	・入荷量：3,780t ・主産地：栃木(32)、群馬(25)、茨城(21)	平均価格	群馬産は、一部産地で生育が遅れていたものの、生育の回復に伴い出荷量が増加していることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。岩手産は、台風の影響によりスレ果等の増加が懸念されるものの、台風時以外は天候に恵まれ生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 茨城産は、一部産地で生育が遅れていたものの、生育の回復に伴い出荷量が増加していることから、現在やや平年を上回っている価格は、引き続きやや平年を上回って推移する見込み。		
		232.81 (103%)	239 (72%)	168 (80%)	187 (80%)	232.81	・入荷量：1,014t ・主産地：山梨(36)、徳島(11)、奈良(8)	平均価格			
	ピーマン	263.58 (109%)	287 (80%)	211 (81%)	213 (81%)	263.58	・入荷量：2,443t ・主産地：茨城(37)、岩手(37)、青森(11)	平均価格	茨城産は、一部産地で生育が遅れていたものの、生育の回復に伴い出荷量が増加していることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。岩手産は、台風の影響によりスレ果等の増加が懸念されるものの、台風時以外は天候に恵まれ生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 茨城産及び岩手産の出荷が平年よりやや多め若しくは平年並みと見込まれるもの、台風の影響による病害虫の発生や下等級品の増加が懸念されることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。		
		296.27 (81%)	240 (68%)	200 (71%)	210 (71%)	296.27	・入荷量：563t ・主産地：青森(19)、兵庫(13)、大分(12)、北海道(11)、茨城(9)	平均価格			
根菜類	だいこん	94.60 (91%)	86 (124%)	117 (123%)	116 (123%)	94.60	・入荷量：12,064t ・主産地：北海道(62)、青森(33)	平均価格	北海道産は、台風による収穫遅れに加え、輸送に影響がみられることがあるから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。青森産は、今のところ台風による大きな影響はなく、台風時以外は天候に恵まれ生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 青森産の出荷が平年並みと見込まれるもの、北海道産の出荷が台風による収穫遅れに加え、鉄道等が被害を受け、輸送に影響が見られることがあるから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。		
		95.37 (86%)	82 (123%)	117 (121%)	115 (121%)	95.37	・入荷量：3,833t ・主産地：北海道(63)、青森(14)、岩手(8)	平均価格			
	にんじん	123.08 (132%)	162 (84%)	103 (113%)	139 (113%)	123.08	・入荷量：7,636t ・主産地：北海道(98)	平均価格	北海道産は、台風による収穫遅れに加え、輸送に影響がみられることがあるから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 北海道産の出荷が台風による収穫遅れに加え、鉄道等が被害を受け、輸送に影響が見られることがあるから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。		
		123.11 (125%)	154 (121%)	149 (117%)	144 (117%)	123.11	・入荷量：2,194t ・主産地：北海道(99)	平均価格			

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	8月の価格情報 (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	9月 (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格			入荷量及び主要産地	生育及び価格の9月中旬までの見通し	「図の見方」			
		指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額					現時点の価格水準			
		上旬	中旬	下旬			平均価格	今後の価格水準		
いも類	さといも	254.79	553 (217%)	503 (197%)	406 (159%)	254.79	・入荷量: 982t ・主産地: 千葉(73)、埼玉(9)		千葉産は、台風による大雨の影響が懸念されるもの、生育が順調なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。	
		220.11	386 (175%)	414 (188%)	354 (161%)	220.11	・入荷量: 173t ・主産地: 愛媛(41)、宮崎(31)		千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年に近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	ばれいしょ	111.77	150 (134%)	130 (116%)	129 (115%)	111.77	・入荷量: 7,835t ・主産地: 北海道(97)		北海道産は、作付面積の減少に加え、台風による収穫遅れや輸送に影響がみられることがあるから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。	
		111.77	154 (138%)	136 (122%)	135 (121%)	111.77	・入荷量: 1,452t ・主産地: 北海道(97)		北海道産の出荷が台風による収穫遅れに加え、鉄道等が被害を受け、輸送に影響が見られることがあるから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	

注: 1 平均価格は、過去6ヵ年(平成20~25年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。
2 旬別平均販売価額の赤字および青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字および赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
3 単位は円/k g、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5ヵ年平均の数値である。
5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで前年実績である。
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したもの。
7 はくさいの平均価格は、上段は7月1日~8月10日まで、下段は8月11日~10月15日までの価格である。

種類	8月の価格情報 (参考)過去5ヵ年平均価格	9月 (参考)過去5ヵ年平均価格			入荷量及び主要産地	生育及び価格の9月中旬までの見通し	「図の見方」			
		東京・大阪市場の旬別価格					現時点の価格水準			
		上旬	中旬	下旬			平均価格	今後の価格水準		
洋菜類	ブロッコリー	361.38	444 (123%)	480 (133%)	503 (139%)	463.99	・入荷量: 1,482t ・主産地: 北海道(65)、長野(19)		北海道産は、台風による収穫遅れに加え、輸送に影響がみられることがあるから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。長野産は、高温等に強い品種を導入し、生育が順調であり、二期作目の出荷量の増加もあることから、引き続きやや多めの出荷の見込み。	
		374.93	467 (125%)	485 (129%)	526 (140%)	440.35	・入荷量: 366t ・主産地: 北海道(55)、長野(30)		長野産の出荷が平年よりやや多めの出荷と見込まれるもの、北海道産の出荷が台風による収穫遅れに加え、鉄道等が被害を受け、輸送に影響が見られることがあるから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
根菜類	ごぼう	287.26	356 (124%)	397 (138%)	378 (132%)	258.04	・入荷量: 904t ・主産地: 青森(55)、群馬(13)、茨城(12)		青森産は、台風による降雨等があったものの、今のところ台風による大きな被害等はなく、台風時以外は天候に恵まれ生育は概ね順調であるから、引き続き平年並みの出荷の見込み。群馬産は、概ね天候に恵まれ生育は順調なもの、暖冬による前進出荷の影響から切上がりが早まっているため、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。	
		172.56	232 (134%)	260 (151%)	264 (153%)	169.63	・入荷量: 669t ・主産地: 北海道(33)、群馬(17)、中国(13)、青森(12)、茨城(11)		青森産の出荷が平年並みと見込まれるもの、群馬産の出荷が少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
果菜類	かぼちゃ	177.84	225 (127%)	232 (130%)	246 (138%)	142.49	・入荷量: 3,948t ・主産地: 北海道(94)		北海道産は、開花・生育期である6月の天候不順の影響で生育が遅れ、また台風による収穫遅れに加え、輸送に影響がみられることがあるから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。	
		164.50	196 (119%)	201 (122%)	203 (123%)	133.59	・入荷量: 1,334t ・主産地: 北海道(86)、N Z(11)		北海道産の出荷が台風による収穫遅れに加え、鉄道等が被害を受け、輸送に影響が見られることがあるから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	

注: 1 平均価格は、過去5ヵ年(平成23~27年)の東京都及び大阪市中央卸売市場の価格。
2 旬別価格は、上段は東京都中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/k gである。
3 旬別価格の赤字および青の背景は、平均価格と比較して150%以上のもの、太字および赤の背景は平均価格を80%を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5ヵ年平均の数値である。
5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで前年実績である。

2 野菜の輸出入動向 一 輸出入数量と主な生鮮野菜の輸出入について 一

貿易統計による、7月の野菜の輸入量は、生鮮野菜が、7万1千トン(前年同月比102%)、加工野菜が15万6千トン(同101%)、野菜全体では、22万7千トン(同101%)となった。このうち、中国産の野菜合計は11万8千トン(同98%)となった。生鮮野菜及び加工野菜が前年をわずかに上回ったため、野菜全体ではほぼ前年並みのとなった。また、7月の中国野菜の輸入量が前年と同様野菜全体の輸入量合計の半数を占めたが(52%)、平成28年に入ってからの7ヵ月累計では50%を下回った(49%)。また、輸出量は、生鮮野菜が、925トン(同111%)、加工野菜が、1,978トン(同127%)、野菜全体では2,904トン(同121%)となった。生鮮野菜及び加工野菜が前年を上回ったことから、野菜全体の輸出量も、前年を大幅に上回った。	野菜の輸入数量			野菜の輸出数量			(単位:トン、%)			
	区分	平成26年		平成27年		区分	平成26年		平成27年	
		前年比	前年比	前年比	前年比		前年比	前年比	前年比	前年比
生鮮野菜	884,735	104	826,845	93	71,119	102	495,472	92	22,924	243
加工野菜	1,785,487	96	1,752,337	98	155,917	101	1,015,718	98	17,061	120
野菜合計	2,670,222	99	2,579,182	97	227,036	101	1,511,190	96	43,417	164
うち中国産野菜合計	1,409,604	100	1,355,491	96	117,503	98	734,706	93	2,904	121
中国産シェア	53		53		52		49		32,050	190
主な生鮮野菜の輸入先(平成28年7月)	合計	1位	2位	3位	合計	1位	2位	3位	合計	1位
		国名	数量	国名	数量	国名	数量	国名	数量	国名
たまねぎ	32,104	中国	26,248	ニュージーランド	3,662	オーストラリア	1,048			
にんじん及びかぶ	7,736	中国	7,494	ニュージーランド	162	オーストラリア	75			
ねぎ	5,091	中国	5,091							
ごぼう	4,672	中国	4,601	台湾	71					
ばれいしょ	4,502	米国	4,498	中国	4					
ジャンボピーマン	4,140	韓国	3,689	オランダ	451					
にんにく	2,030	中国	1,954	スペイン	60	米国	13			
ブロッコリー	1,979	米国	1,886	オーストラリア	94					
主な生鮮野菜の輸出先(平成28年7月)	合計	1位	2位	3位	合計	1位	2位	3位	合計	1位
		国名	数量	国名	数量	国名	数量	国名	数量	国名
ながいも等	510	台湾	275	米国	181	シンガポール	51			
キャベツ等	132	台湾	65	香港	36	シンガポール	21			
きのこ(その他)	102	台湾	58	タイ	17	インドネシア	11			
主な生鮮野菜の輸出先(平成27年7月)	合計	1位	2位	3位	合計	1位	2位	3位	合計	1位
		国名	数量	国名	数量	国名	数量	国		